

平成 30 年度高病原性鳥インフルエンザ防疫演習が開催されました

県は、高病原性鳥インフルエンザ等の発生に備えて、現地対策班を構成する農林事務所、家畜保健衛生所、市町村、保健所及び、警察署等関係者が初動防疫体制を充実し、連携強化を図ることができるよう、下記のとおり地域別防疫演習（机上及び体験型）を開催しました。

また、県庁動員職員を対象に、発生時の緊急動員のタイムスケジュールや農場での防疫作業等について説明会を開催しました。

なお、今年度は、新たに県庁動員職員のうち 33 名が、県庁（災害対策室）からバスで、県北・県央地域の体験型演習に参加し、より実践に近い体験をしました。

I 防疫演習

<開催日時及び場所>

主催	日時	開催場所	参加者
県北・県央地域			
県北農林事務所 県央農林事務所 県北家畜保健衛生所 畜産課 防災・危機管理課	10月31日(水)	農業総合センター農業研究所 (水戸市上国井町3402)	約150名
鹿行地域			
鹿行農林事務所 鹿行家畜保健衛生所	10月25日(木)	鉾田合同庁舎 (鉾田市鉾田1367-3)	約80名
県南地域			
県南農林事務所 県南家畜保健衛生所	9月26日(水)	土浦市農村環境改善センター (土浦市永井本郷入会地1)	約130名
県西地域			
県西農林事務所 県西家畜保健衛生所	10月26日(金)	明野公民館 (筑西市海老ヶ島2120-7)	約120名

<内容>

1 机上シミュレーション

高病原性鳥インフルエンザ等発生時の防疫措置の概要や防疫資材の運搬等及び、国内外における口蹄疫や高病原性鳥インフルエンザ発生状況等について、家保職員が、スライドを用いて動員職員等を対象に説明しました。

また、警察署員からは、通行制限並びに消毒ポイントにおける安全な車両誘導について、保健所職員からは、鳥インフルエンザウイルスからの感染予防と熱中症対策について、説明しました。

2 体験型シミュレーション

防疫作業によりウイルスに汚染されないように、防疫作業者が防護服をスムーズに着衣できるように、市町村や県関係機関職員に体験してもらい、さらに消毒ポイントにおける車両の誘導、動力噴霧器の設置や車両消毒の方法について体験しました。



Ⅱ 防疫説明会 ＜開催日時及び場所＞

主 催	日 時	開 催 場 所	参加者
県庁 畜産課 防災・危機管理課	10月10日(水)	県庁講堂 (水戸市笠原町978-6)	約230名

＜内容＞

1 高病原性鳥インフルエンザ発生時の初動防疫措置について

県庁動員職員に高病原性鳥インフルエンザ発生時の初動防疫措置についてスライドを用いて、以下の内容を説明しました。

- ・ 動員のタイムスケジュール及び作業のローテーション
- ・ 防疫作業の内容と基本的な1日の流れ
- ・ 防疫支援センターや発生農場サポート拠点での動線



Ⅲ 今後の対応

今後も万一の発生に備え、農林事務所等関係機関が協力し、迅速かつ的確な初動体制を整え、被害を最小限に抑えられるように、各地域で防疫演習を実施します。

また、県庁動員職員が発生時に迅速に対応できるように定期的な説明会を開催していく予定です。